

IME [aiemā:] 中堅中小製造業の経営革新!

定期(108)

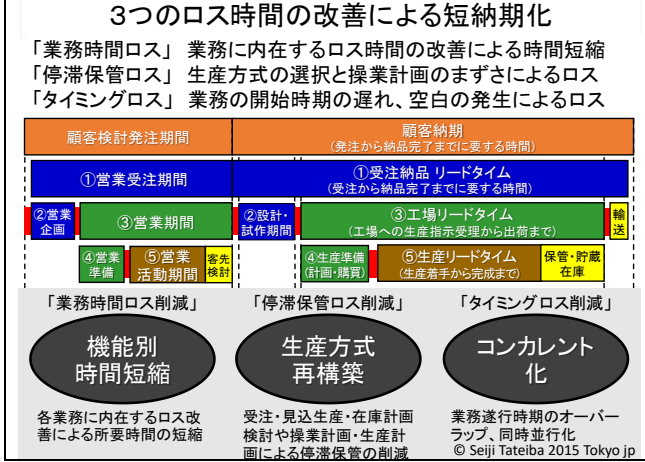
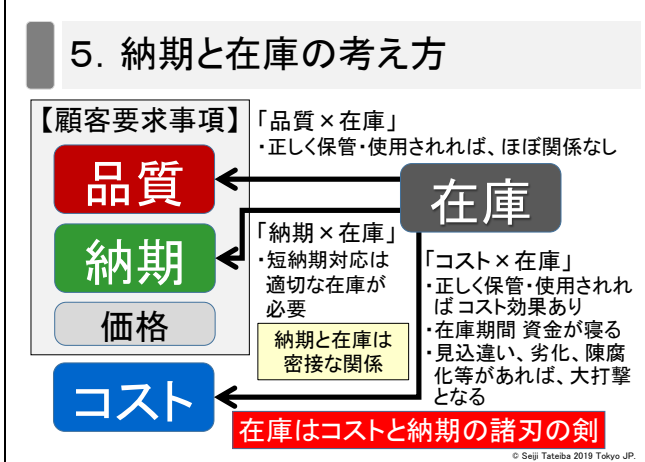
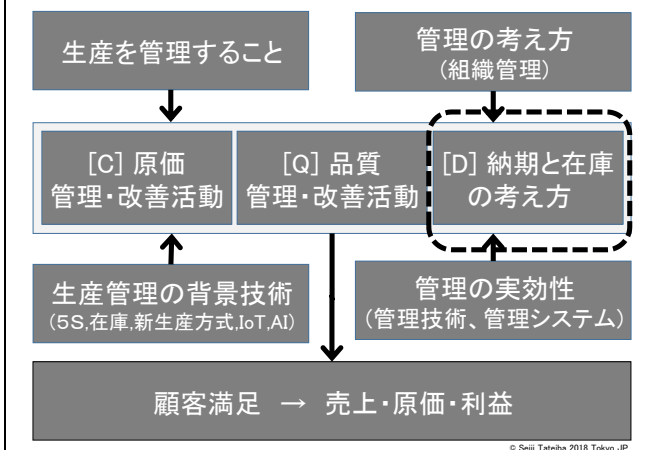
生産管理の考え方 (3)

株式会社 IME コンサルティング
代表取締役 立居場誠治

Save The Earth
© Seiji Tateiba 2018 Tokyo JP.

定期経営セミナー開催予定

- 場所
大田区産業プラザ(Pio) 蒲田
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20
TEL: 03-3733-6600
- 日時
7月19日(金) F会議室
8月30日(金) F会議室
9月27日(金) F会議室
10月25日(金) G会議室
18:30から1.5~2時間程度
- テーマ
・企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する



5.2在庫・ストックの最適化
5.2.1在庫・ストックの考え方

- ・ 製造業における在庫・ストックは明確に定義されていないが、次の様に説明する事ができる。

在庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品・品物等が倉庫などにあること。 その商品・品物。 商品の総量(在庫量) ・ ある時点において、会社が保有する原材料・仕掛り品・製品・商品などの総量。 ・ 会社が販売目的で一時的に保有している商品・製品・原材料・仕掛品の総称。 ・ 将来の需要にそなえる為の遊休資源。
ストック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄えた原材料・仕掛り品・製品・商品などの物。 また、ためておくこと、蓄えること。 ・ 手持ちの品、売り物などの在庫品、蓄え。 仕入れて置いておくこと。

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP

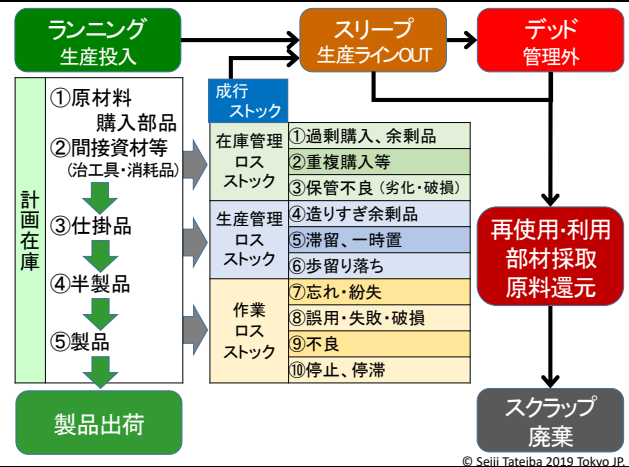
5.2在庫・ストックの最適化
5.2.1在庫・ストックの考え方

- ・ 在庫は基本的には、販売や受注の都合で**目的・計画をもって意図的に一時保管するもの**である。
- ・ しかし、会社によっては、不良や破損などで使用できないモノを保管している場合も在庫と呼んでいるケースがある。
- ・ ここでは、会社内で存在・保管されているモノの総称を「ストック」として、販売の為に計画的に一時保管しているものを「在庫」と称する。(在庫はストックの一部。)

調べるべきポイント

- (1) 計画在庫の目的
- (2) 在庫・ストックの場所・量の実態
- (3) 状態・使用予定等の状態
- (4) 発生要因分類
- (5) 「発生要因」と「状態・使用予定の状態」の関係

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP



5.2在庫・ストックの最適化
5.2.3計画在庫削減のステップ (例)

- ・ 在庫が問題となっていた某社において、次のステップで在庫適正化(削減)を行った。

- (1) 在庫の概要把握 (仮調査)
- (2) 在庫の分類定義の設定
- (3) 在庫の目的・目標の明確化 [Option] 理想在庫の設定
- (4) 在庫の実態調査
- (5) 目的・目標の達成レベル
- (6) 計画在庫の改善考案

あるべき姿 (Ideal state) ————— 目的・目標 (Objective/Target)

↑ ↓

ギャップ = 問題点 → 改善 (Gap = Problem point → Improvement)

実態 (Actual state) ————— 現状 (Current state)

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP

※この資料は会場配布したものの抜粋です。